図説　曹洞宗の授戒会

準備篇

一　授戒会略史

二　授戒会の心得

三　開催までの手順

計画立案 / 伽藍整備 / 仏具・諸道具の整備 / 諸手続き / 配役の心得 / 拝請・依頼・披露・祝賀 / 三師・随喜衆への連絡

四　日程の立て方

五　習儀の行い方

六　道場の荘厳

七　諸道具の作成

血脈・血脈袋 / 仏具 / 標示札 / 帳簿 / 戒弟資料

八　案内・宣伝

拝請状・配役依頼状・戒弟施主募集要項

九　戒弟引導の心得

加行位の決め方 / 直壇口宣 / 戒弟のお世話

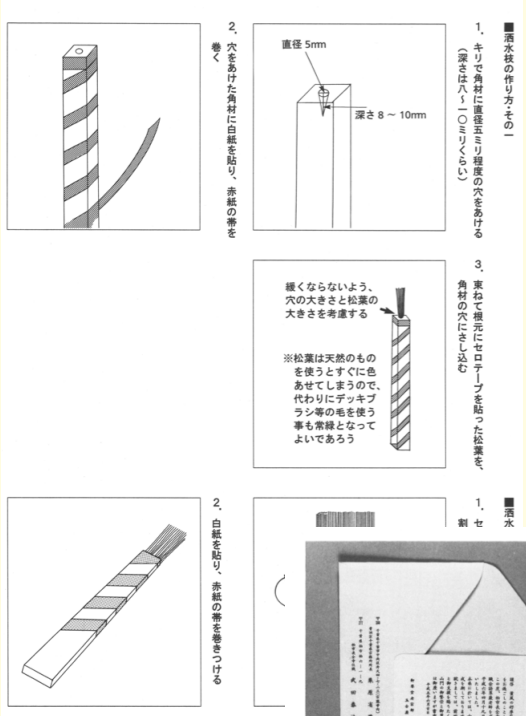
十　業者の使い方

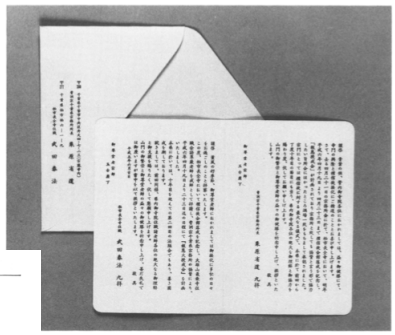
仕出し業者 / 写真撮影 / ビデオ撮影 / ホテル / 印刷業者等

法式篇

啓建前日から終了まで差定に沿って詳細解説

付録　仏祖正伝菩薩戒作法





■案内状

授戒会を円成させるには、随喜をお願いしない寺院に対しても、勧戒などさまざまな形の協力をいただく必要がある。そこで、法縁地縁の寺院方に案内状を送って助力をお願いする。

参考のために、下に晋山式と併せて因脈会を行なう際の案内状の例文を挙げておく。

謹啓　〇〇の候、尊台老宗師益々ご清栄の段、大慶に存じ上げます。

陳者小衲儀この度、法縁各師（老宿）並びに檀信徒各位のご支援によりまして、左記の如く晋山の法会を修行することになりました。

御尊台には公私御多用とは存じますが、御来臨の栄を賜わりたく、謹んでご案内申し上げます。

敬具

記

晋山式、因脈会差定

晋山式　平成〇年〇月〇〇日（〇曜日）

晋山門到着　八時〇〇分

晋山開堂　九時〇〇分

法戦式　十時〇〇分

檀家総懺向　十一時〇〇分

祝宴　十二時〇〇分～十五時〇〇分まで（〇〇ホテルにて）

因脈会　同〇月〇〇日（〇曜日）

午前八時より午後五時まで

平成〇年〇月〇〇日

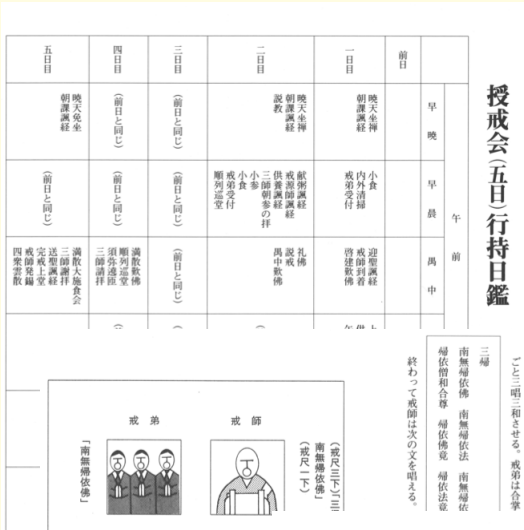
以上

〇〇県〇〇市〇〇町〇〇

〇〇山〇〇寺

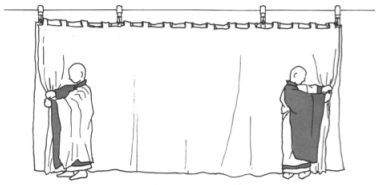
新命〇〇〇〇九拝

追伸　誠に恐縮ではありますが、御出席の可否を同封の葉書にて御返信下さいますよう、お願い申し上げます。

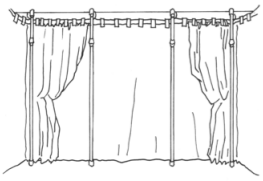


授戒会（五日）行持日鑑

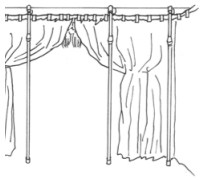
		午前				
	早晩	早晨	禺中			
前日	晩天坐禅 朝課諷経	小食 内外清掃	献粥諷経 戒師到着 戒弟受付	迎聖諷経 戒師到着 啓建欽仰	散散大施食会 三師拝 巡堂諷経 完戒上堂 戒師発鑑 四聖雲散	晩天発坐 朝課諷経
一日目	晩天坐禅 朝課諷経		戒弟受付 順列巡堂	三師朝参の拝 小参 小食	禺中欽仰	
二日目	晩天坐禅 朝課諷経 説教		戒弟受付 順列巡堂	供養諷経 戒師諷経 三師朝参の拝 小食	禺中欽仰	
三日目	（前日と同じ）		（前日と同じ）	（前日と同じ）	（前日と同じ）	（前日と同じ）
四日目	（前日と同じ）		（前日と同じ）	（前日と同じ）	散散 順列巡堂 須弥遶匝 三師請拝	（前日と同じ）
五日目					散散 順列巡堂 巡堂諷経 完戒上堂 戒師発鑑 四聖雲散	晩天発坐 朝課諷経



内道場外側（補室もしくは戒行が幕をめくって戒弟を導く）



内道場内側（出入口が二つの場合）



内道場内側（出入口が一つの場合）

11. 正授戒文

戒師は香を焚き、戒尺を三下するごと三唱三和させる。戒弟は合掌

三帰

南無帰依佛　南無帰依法　南無帰依僧

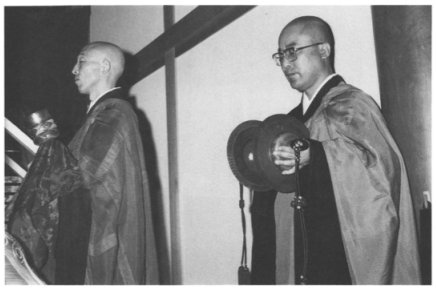
帰依僧和合尊　帰依仏竟　帰依法竟

終わって戒師は次の文を唱える。

（戒尺三下）（三）

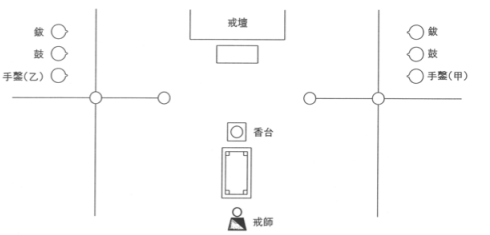
南無帰依佛

（戒尺一下）



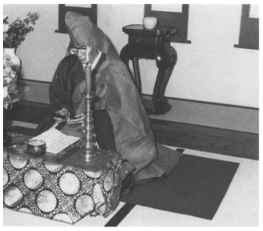
3. 鼓鈸三通

戒師が中央座位まで進むのを見計らい、対手僧・供頭は内陣にて鼓鈸三通。



8. 三帰戒・三拝

戒師は三帰戒、三聚浄戒、十重禁戒を授ける（三帰戒は三唱三和、三聚浄戒と十重禁戒は「能く持つや否や」「能く持つと」問答）。終わって戒師は「是の事是くの如く持つべし」と唱え、戒尺二下。



9. 授脈三拝

受者を起立させ、順次に戒師の前に出て血脈を受けさせる。戒師は血脈を香に薫じて渡し、受者は合掌して親指と人差指の間で受ける。直壇は血脈を受けた者に血脈袋を渡し、みだりに床に置かないよう教える。

受者すべてが授脈を終わり、帰位し坐するのを見て、戒師は「衆生受佛戒の偈」を三唱（あるいは普廻向）する。終わって、直壇は「三拝」と唱え、一同は手鑿に従って坐拝三拝する。

血脈に血脈を授ける

血脈の受け方